

平成 17 年 10 月 5 日

NPO 法人西日本自然系博物館ネットワーク
加盟館および会員各位

NPO 法人西日本自然系博物館ネットワーク
理事長 山西良平

「第 2 回自然系博物館における標本情報の発信に関する研究会」の開催について（案内）

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。当 NPO 法人の事業につきましては、種々ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当 NPO 法人では自然系博物館における標本および各種資料の情報発信を行うための研究会を下記のとおり開催いたします。この会におきましては、標本情報データベースの国際規格への対応（GBIF）や博物館間の横断検索、情報発信に伴う諸課題について、各博物館の実務担当者を中心として議論ならびに情報交換したいと考えております。詳しい内容は別紙 1 をご覧下さい。ご多用の所恐縮ですが、お繰り合わせの上ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日時 平成 17 年 10 月 24 日（月）午後 1 時 30 分～16 時 30 分迄
場所 大阪市立自然史博物館 会議室
話題提供 第 1 回研究会にて課題となった事項について
大阪市立自然史博物館 佐久間大輔氏
標本データベース：神奈川県博の場合
神奈川県立生命の星地球博物館 田中徳久氏
アジアの鳥類分布データベースの場合
兵庫県立人と自然の博物館 松野葉月氏
標本データベースにおける地理情報の整備について
東京大学生産技術研究所 相良 毅氏

ワークショップ

収蔵品データの公開に伴う課題とその解決策に関するワークショップ

以上

- ・参加を希望される方は、10/15 迄に以下へご連絡下さい
- ・旅費については当 NPO から支給致しますので事前に申請下さい。
- ・出張依頼文書が必要な方は早めにご連絡ください。

【この件に関する紹介先】

兵庫県立人と自然の博物館 担当：三橋
E-mail:hiromune@hi tohaku.jp
〒669-1544 三田市弥生が丘 6 丁目
tel.079-559-2001 fax.079-559-2007

第2回 自然系博物館における標本情報の発信に関する研究会 収藏品データの公開に伴う課題とその解決策に関するワークショップ

日時：2005年10月24日(月)13時～16時30分

場所：大阪市立自然史博物館 会議室

趣旨：

生物多様性の科学的な理解を推進するために、国際的な生物標本に関するデータベースの構築(GBIF)をはじめ、国内では国立科学博物館による全国の科学系博物館の標本情報整備とネットワークが実施あるいは検討されはじめています。情報の発信に関しては、専門的な情報処理技術が求められると同時に、フォーマットの統一、位置情報の整備、情報自体の精度管理などが課題と考えられています。しかし、これらの課題の解決策は博物館スタッフの間で共有化されていません。また、今年度から実施される科学系博物館情報ネットワーク推進事業(国立科学博物館)では、全国の博物館の有する標本情報等を横断的に検索できる仕組みづくりが検討されており、各館がこの仕組みに参加するために必要な条件等を早急に検討する必要があります。

この研究会では、情報発信に伴う課題解決の手法やGBIFをはじめとする国内外でのプロジェクト紹介、博物館同士のネットワーク、活用事例などについての情報交換や議論を行い、情報発信の促進と学芸員の技術向上を目指します。最終的には、全国各地の博物館が有する収藏品情報をネットワーク化して、横断検索する仕組みについて議論できればと考えています。第1回の研究会では、各館の担当者21名が参加し、様々な意見が挙がりました。第2回目は、関東地方の博物館職員にも参加頂き、前回に課題となった事項に対する解決策について、ワークショップ方式の議論等を通じて、検討させて頂ければと思います。

1. 話題提供

第1回研究会にて課題となった事項について

大阪市立自然史博物館 佐久間大輔氏

前回の研究会および環瀬戸内博物館ネットワーク事業の際に課題となった項目についておさらいします。

標本データベース：神奈川県博の場合

神奈川県立生命の星地球博物館 田中徳久氏

神奈川県立生命の星地球博物館で整備されている植物データベースに関して特徴や課題等を紹介して頂きます。

アジアの鳥類分布データベースの場合

兵庫県立人と自然の博物館 松野葉月氏

野鳥の会で収集した紙ベースでのデータや各施設で整備されたデータベースに位置情報を付して、再統合する際の問題点等について紹介して頂きます。

参考：<http://birdbase.hokkaido-ies.go.jp/>

標本データベースにおける地理情報の整備について

東京大学生産技術研究所 相良 毅氏

東京大学空間情報科学センターにて公開されているCSVアドレスマッチング機能など、データベースの文字情報から自動的に位置情報を取得する方法や課題について紹介して頂きます。

参考：<http://www.tkl.iis.u-tokyo.ac.jp/~sagara/geocode/>

2. ワークショップ

上記課題について、解決策を各グループごとに取りまとめて討論を行います。各グループごとにパソコンを1台用意して、世界各地の博物館におけるデータベースを参照しながら、具体的な案を模索し、最終的にグループごとにプレゼンテーションして頂きます。課題としては、1)ハードウェアの面について、2)ソフトウェアの面について、3)制度や組織、体制の面についての検討を予定しております。

以上

【この件に関する紹介先】

兵庫県立人と自然の博物館 担当：三橋

E-mail:hiromune@hi-tohaku.jp

〒669-1544 三田市弥生が丘6丁目

tel.079-559-2001 fax.079-559-2007